

研究課題名	脳卒中の急性期診療提供体制の変革に係る実態把握及び有効性等の検証のための研究
倫理委員会承認番号	218
当院の研究責任者（所属）	大田 慎三（脳神経外科）
他の研究機関および各施設の 研究責任者	坂井 信幸（神戸市立医療センター中央市民病院 脳神経外科）
本研究の目的	脳卒中急性期医療を担う医療機関において、新型コロナウイルス感染症拡散等に伴う脳卒中診療体制の変革を調査し、今後の急性期脳卒中医療の充実に資する指針を検討し、その安全性、有効性、効率性等の検証を行う。
調査データの該当期間	2019年1月～2021年12月
研究の方法（対象者）	上記期間中に当院に入院した急性期脳梗塞患者のうち、機械的血栓回収療法を施行した患者。
研究の方法（使用する情報）	年齢・性別・診療情報・血栓回収療法の治療結果など
試料／情報の他機関への提供	個人情報を削除した調査項目（エクセルファイル）を、研究事務局に mail で送付する
個人情報の取り扱い	データの解析および研究成果の発表・公表においては、個人を特定できる形としない。
本研究の資金源（利益相反）	なし
備考	